

【日本遺産】

シリーズ①

出雲國たたら風土記

鉄づくり千年の物語

安来市・雲南市・奥出雲町の「たたら製鉄」に関するストーリーは、平成28年度に日本遺産に認定されました。また、令和4年度に、他地域のモデルとなる「重点支援地域」に選定されました。令和8年度には日本遺産認定10周年の節目を迎えることから、構成地域である安来市・雲南市・奥出雲町が共同し、全12回のシリーズで日本遺産構成文化財等について紹介します。

■日本遺産

日本遺産とは、地域に点在する文化や風習、文化財などを一つの「ストーリー」として文化庁が認定するものです。

この事業は、文化財等を保存するだけでなく、活用・発信し、地域活性化を図ることを目的に、平成27年に始まりました。

■出雲國たたら風土記

「鉄づくり千年が生んだ物語」

今日もなお、世界で唯一のたたら製鉄の炎が燃え続けるこの地域。今もここでは、鉄づくり千年の物語が終わることなく紡がれています。

問い合わせ 観光振興課

☎ 23・3110



令和7年3月末時点で、全国に104の認定地域があります。

関連情報はこちら

右2次元コード：
出雲國たたら風土記
Instagram

左2次元コード：
鉄の道文化圏ホーム
ページ



やすぎどじょうの生産者になりませんか



どじょうすくい踊りや「市の魚」として、昔から市民に親しまれてきたドジョウ。

そんなドジョウの生産者になりませんか。やすぎどじょう生産組合では、ドジョウの稚魚を生産者に引き渡し、育ったドジョウを生産者から集荷し、取りまとめて販売しています。

Q. 養殖に失敗しそうで怖い

A. ドジョウの養殖が困難だったのは20年以上前のこと。やすぎどじょう生産組合では、養殖のマニュアル化・専用餌の開発により、安定した生産が可能になっています。

Q. 出荷のとき、捕獲が大変じゃない？

A. ドジョウの捕獲は、捕獲器をセットして1晩待つだけです。池の中でどじょう掬いをする必要はありません。



Q. 山間部でも養殖はできる？

A. ドジョウの養殖は、むしろ傾斜がある場所の方が池の管理が簡単です。山間部で積雪があってもドジョウは冬眠しているので、春になれば動き出し養殖可能です。

Q. 田んぼを養殖池に変えると、もう戻せない？

A. 田んぼを養殖池にする場合、田んぼの中の土を周囲に盛って池にします。養殖をやめる場合は、その土を戻し、また田んぼとして利用できます。

また、池の中は雑草が生えないので、草刈りは畦の部分だけ。農地の荒廃も防げます。

養殖する気持ちがあれば、誰でもドジョウ養殖を始められます。

まずは気軽に問い合せください。

問い合わせ やすぎどじょう生産組合

☎ 28-7521

農林振興課 ☎ 23-3333

